

# 令和7年度多面的機能支払交付金

## 中国四国農政局長表彰

### 優秀賞組織の概要

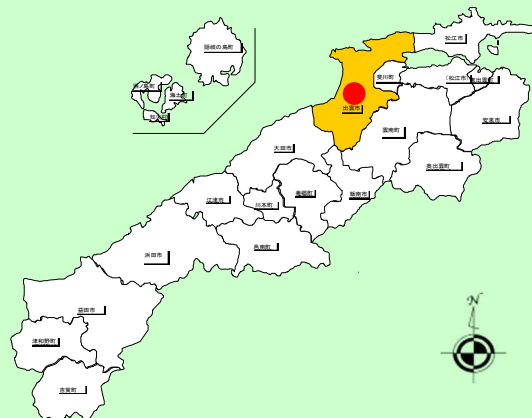
- |    |  |           |         |
|----|--|-----------|---------|
| 1. | <small>たかまつ ち く の うち ほぜんきょうぎ かい</small><br>高松地区農地保全協議会                   | (島根県出雲市)  | ・ ・ ・ 1 |
| 2. | <small>おおば ち く ためんてききの うしはらい こうふきんかつどうそし き</small><br>大庭地区多面的機能支払交付金活動組織 | (岡山県真庭市)  | ・ ・ ・ 2 |
| 3. | <small>ち よ だ こういききょうていうんえいいいん かい</small><br>千代田広域協 定 運営委員会               | (広島県北広島町) | ・ ・ ・ 3 |
| 4. | <small>はぎわら ち く しげんほぜんきょうぎ かい</small><br>萩原地区資源保全協議会                     | (徳島県鳴門市)  | ・ ・ ・ 4 |
| 5. | <small>てんのうさとやま</small><br>天王里山クラブ                                       | (香川県さぬき市) | ・ ・ ・ 5 |
| 6. | <small>かしだにち い き しげん ほぜん かい</small><br>樫谷地域資源保全会                         | (愛媛県大洲市)  | ・ ・ ・ 6 |
| 7. | <small>さ だ ほぜん かい</small><br>佐田保全会                                       | (高知県四万十市) | ・ ・ ・ 7 |

令和7年度 多面的機能発揮促進事業  
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織（島根県）

【多面的機能支払】

たかまつちくのうちほぜんきょうぎかい いずもし  
「高松地区農地保全協議会」（出雲市）

- （１）認定農用地面積：252.1ha  
（田：192.4ha、畑：59.7ha）
- （２）組織構成：  
40集落（農家158戸、非農家488戸）  
開水路：29.3km、農道61.9km



【組織の概要】

本組織は、出雲市中心部から約3kmに位置する都市的地域で、昭和30年代以降に圃場整備が実施された農地では、農地集積が進んでおり、水稻、ぶどうの生産が盛んです。

農業者の減少、地域住民の高齢化により、地域資源の維持管理が難しくなっていたことから、令和2年度から活動を開始しました。混住化が進み、構成員に占める非農業者の割合が76%と非常に高く、組織内において複雑な調整が必要となりますが、町内会や高松コミュニティセンターと連携を密にして、広域的な取組を円滑に実施しています。

隣接する周辺の農用地を新規に取り込むとともに、既存組織との合併・広域化を推進して、事務や役員の担い手不足の解消と担い手農家への農地集積につながっています。

【主な取組内容】

- 構成員である高松コミュニティセンターボランティア部を中心に、ゴミ拾い、植栽したプランターの歩道等への設置、用水路の水質モニタリングなどの活動や、食育を目的に近隣の幼稚園や小学校と連携して農業体験を実施しており、これらの活動は、毎年、広報誌「協議会通信」を作成・配布することにより、広く周知しています。
- 令和5年度に県からの打診をきっかけに、毎年、課外授業の一環として島根県立出雲農林高等学校環境科学科の生徒と連携した水路の補修（コーティング）作業を共同で実施しています。この取組により、高松地区の農業や水利施設の現状を知ってもらい、生徒にとっては学校で習ったことを現場で実践する貴重な場となっています。
- 令和4年度から、一部集落においてたんぼダムに取り組んでいます。この取組に当たっては、水位管理が容易になるよう堰板の上下を逆に設置するなど工夫をしており、県の実証調査にも積極的に協力するなど出雲市内のモデル的な取組となっています。



園児・児童の稲刈り体験



生徒と共同での補修作業



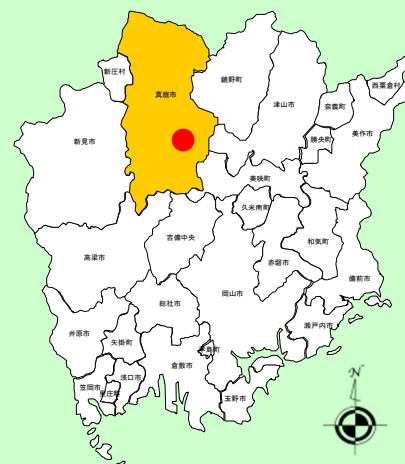
たんぼダムの取組  
（V字カットの堰板）

令和7年度 多面的機能発揮促進事業  
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織（岡山県）

【多面的機能支払】

おおばちくためんてききのうしはらいこうふきんかつどうそしき まにわし  
「大庭地区多面的機能支払交付金活動組織」（真庭市）

- （１）認定農用地面積：22.2ha  
（田：22.0ha、畑：0.2ha）
- （２）組織構成：  
3集落（農家41戸、非農家24戸）  
開水路：6.2km、農道：5.2km



【組織の概要】

本組織は、真庭市の中心部に位置し、現在、県営圃場整備事業を実施している中間農業地域で、主に水稻・大豆を栽培しています。

平成19年度から市の紹介で活動を開始して、農業者及び非農業者個人だけでなく、自治消防団や子供会と組織を構成し、幅広く地域住民の参画を得て活動を行っています。

【主な取組内容】

- 水路の泥上げ、農道の草刈りや遊休農地の発生防止、異常気象時の対応などの農地を維持・保全する活動を、参加者が固定化しないよう、幅広い年齢層、地域住民の参画が得られるよう呼びかけをして、地域全体で取り組んでいます。  
また、観光名所の篠向城跡<sup>ささぶき</sup>の整備として、清掃活動や案内看板の設置、小学生と学習会をして、農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化に取り組んでいます。
- 生態系保全の取組として、子供会と連携して毎年9月の井手乾しの日（用水を止める日）に、用水路のナマズやウナギの生態系調査を実施して交流を深め、子供たちに地域のことを熱心に考えてもらう機会となっています。  
令和4年度から老人クラブを中心に、遊休農地にキク科のフジバカマやコスモスを植栽して、交流の場が生まれ、地域の景観維持にも貢献しています。
- 令和5年度に組織の中に「自主防災組」を設置して、市や消防団と連携した異常気象時の対応を行っています。また、令和7年度に「元気サロン」を設置して、集落内の高齢者の見回りやレクリエーション活動に取り組んでいます。



農道の適正管理



啓発普及のための植栽



水路生態系の調査



令和7年度 多面的機能発揮促進事業  
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織（広島県）

【多面的機能支払】

ちよだこういききょうていうんえいいんかい きたひろしまちよう  
「千代田広域協定運営委員会」（北広島町）

（１）認定農用地面積：409ha

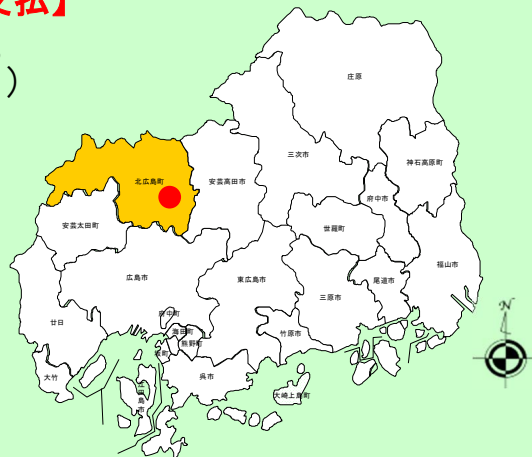
（田：406.0ha、畑：3.0ha）

（２）組織構成：

32集落（農家487戸、非農家123戸）

開水路：167 km、農道65.5 km

ため池 35箇所



【組織の概要】

本組織は、北広島町の中心に位置する中間農業地域です。神楽やユネスコ無形文化遺産に認定された壬生の花田植など農業にまつわる伝統行事が有名で、国営農地再編事業等が実施された農地では、水稻、麦、黒大豆、トマト、キャベツなどの栽培が盛んです。

平成19年度の活動開始後、令和3年度に県の支援により旧千代田町全域での広域化に取り組み、現在は14組織が参加しており、事務局を中心に、事務支援ソフト導入による活動の効率化や長寿命化工事の調整及び支援など組織間の連携強化を図っています。

【主な取組内容】

- 水路・農道の草刈りや町内会と連携した一斉清掃、鳥獣防護柵周辺の草刈り・補修などの活動に取り組み、ヒガンバナなどの植栽活動や毎年恒例の生き物調査では、廃校により離ればなれになった子どもたちの交流の場になるなど、住民間で言葉を交わすきっかけが生まれ、地域のつながりを維持する活動となっています。
- 広域化をきっかけに、7名の事務局体制（代表、情報システム担当3名、長寿命化工事担当3名）として、定期的な打合せにより情報共有を密にして、誰かが倒れても他の人がカバーできる安定した組織づくりを目標に掲げています。
- イノシシやシカなどの鳥獣害対策では、ワイヤーメッシュ柵を2～3重に設置するなど工夫をしていますが、従来の対策では手に負えない状況になっており、鳥獣害対策を支援してくれる広島県鳥獣対策等地域支援機構「tegos<sup>テゴス</sup>」（広島弁で「手伝う」という意味）に相談するとともに、勉強会に参加するなど対策の強化に努めています。



花の植栽活動



生き物調査とハンドブック



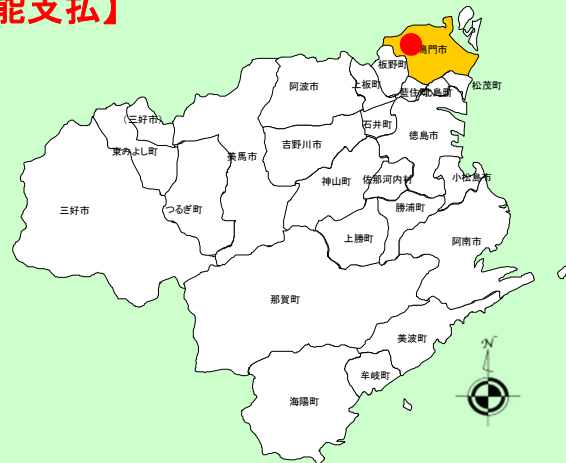
鳥獣防護柵の補修作業

令和7年度 多面的機能発揮促進事業  
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織（徳島県）

【多面的機能支払】

はぎわらちくしげんほぜんきょうぎかい なるとし  
「萩原地区資源保全協議会」（鳴門市）

- (1) 認定農用地面積：29.7ha  
（田：26.8ha、畑：2.9a）
- (2) 組織構成：  
1集落（農家22戸、非農家2団体）  
開水路：4.5km、パイプライン：4.6km  
農道：4.9km



【組織の概要】

本組織は、鳴門市西部、旧吉野川の沖積平野に位置する平地農業地域で、水稻、レンコンの栽培が盛んです。コウノトリのビオトープに隣接する圃場で有機栽培した酒米を酒造メーカーが利用して「コウノトリのお酒」としてブランド化されています。

平成25年5月に国の特別天然記念物であるコウノトリが飛来・定着して以来、コウノトリと共存した地域づくりを目標の一つとして、営巣が今後も続き、地域の大切な環境資源となって、住民の環境保全意識の高揚に繋がるようにとの思いから、国営総合農地防災事業「吉野川下流域地区」の実施を契機に、令和4年度から活動を開始しています。

【主な取組内容】

- 雑草類の繁茂状況に応じたきめ細やかな雑草対策や県から専門家を招いてのジャンボタニシの駆除活動、未舗装農道の再生砂利による整備やアスファルト合材による補修を農業者が中心となって直営で実施するなど、柔軟な組織運用に努めています。
- 年間を通じたコウノトリの餌場確保と良好な生息環境を創出するため、NPO法人「とくしまコウノトリ基金」の協力を仰ぎ、水田を活用したビオトープの整備や自然観察会に取り組んでいます。ビオトープの整備に当たっては、魚道の角度や設置方法、江（深み）の広さや深さについて助言を受け、「外部人材の活用」による課題解決を図っています。
- 自治会や地域住民の協力を得て、毎年6月に遊休農地や花壇にカンナ、マリーゴールド、ひまわり等を植栽する景観形成活動を、多くの女性が参加して実施しています。



農道整備(再生砂利の敷き均し)



地域に定着したコウノトリ



植栽活動の様子



令和7年度 多面的機能発揮促進事業  
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織（香川県）

【多面的機能支払】

てんのうさとやま  
「天王里山クラブ」（さぬき市）

（１）認定農用地面積：30.8ha

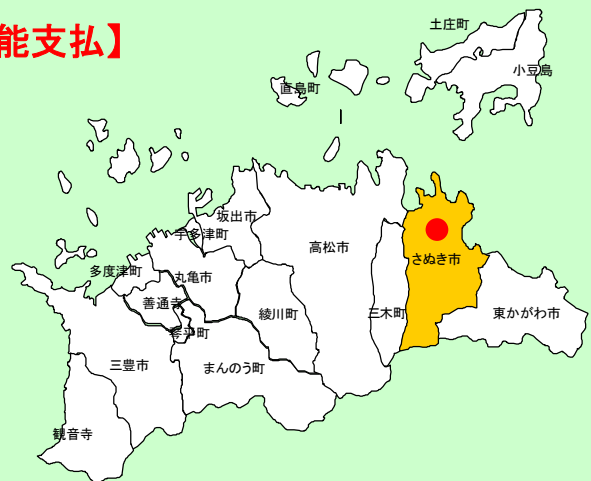
（田：30.8ha）

（２）組織構成：

2集落（農家23戸、非農家14戸）

開水路：7.5km、パイプライン：6.7km

農道：0.9km、ため池：2箇所



【組織の概要】

本組織は、さぬき市の中央部に位置する中間農業地域で、平成初期に圃場整備が完了した平地水田地帯では、水稻、パン用小麦「はるみずき」の栽培が盛んです。

地域の高齢化による自治会の衰退に憂慮し、農事組合法人天王と自治会が一体となって、令和元年度から活動を開始して、法人への農地集積、地域外からの人材雇用、ライングループ活用による事務の簡素化と遊休農地化の抑制を図り、地域の重要なインフラ設備である水路や農道、農地の保全管理を地域ぐるみで行っています。

【主な取組内容】

- 水路の泥上げ、ため池や農道・水路法面の草刈り及び鳥獣防止柵の補修など農地・農業用施設を維持・保全する活動と、遊休農地に市花であるコスモスの植栽や通学路にパンジーや葉ボタンのプランターを設置する景観形成活動により、生徒たちが花に興味を持ち、校庭での植栽活動に広がるとともに、周辺住民に癒しの場を提供しています。
- 遊休農地でハロウィン用のカボチャを栽培し、ハロウィンの時期に地域の幼稚園や小学校へ提供して、カボチャを通じた世代間での交流を楽しんでいます。また、広報誌（天王自治会・里山クラブ活動便り）を定期的に発行して活動を盛り上げています。
- 地域に大規模ため池と幹線排水路があり、洪水時に雨水が集まる地形的弱点があるため、田んぼダムに対象農用地の7割以上で取り組む中、更なる拡大（9割）を目指し意欲的に防災・減災力の強化に努めています。近年、防災・減災意識の高まりから、大雨時には水利組合と連携して、ため池の事前放流、水門操作及び田んぼダムの取組により集落を浸水被害から守っています。



農道・水路法面の草刈り



カボチャを通して交流



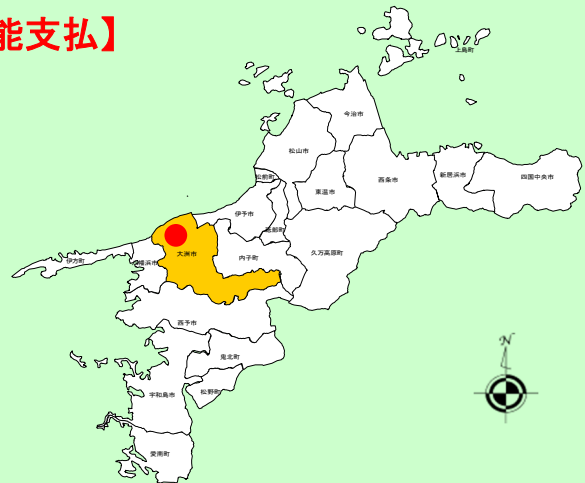
田んぼダムの取組

令和7年度 多面的機能発揮促進事業  
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織（愛媛県）

【多面的機能支払】

かしだにちいきしげんほぜんかい おおずし  
「**檜谷地域資源保全会**」（大洲市）

- （１）認定農用地面積：6.7ha  
（田：4.9ha、畑：1.8ha）  
（２）組織構成：  
１集落（農家7戸、非農家2戸）  
開水路：1.8km、農道：5.0km



【組織の概要】

本組織は、大洲市の壺神山つばかみやまの中腹 500m に位置する中間農業地域で、「天空の隠れ里」とも称される檜谷棚田を中心に平成 27 年度から活動を開始しました。平均傾斜勾配 20% の 200 枚を超える棚田は、美しい曲線から成るすり鉢状の奥行きのある景観が特徴で、令和 3 年度に農林水産省の「つなぐ棚田遺産」に認定されています。

【主な取組内容】

- 過疎・高齢化が進み、農業者のみでの農地維持が困難になってきたため、地域内外の有志により結成された「檜谷棚田保存会」と協力して、「棚田オーナー制度（H27～）・棚田トラスト制度（H30～）」の取組を地域一体で推進し、都市住民を巻き込んだ形で棚田の保全管理を行い、土壌侵食・土砂崩壊防止や景観保全などの多面的機能を維持しています。
- 棚田を貴重な地域資源と捉え、棚田の持つ美しい景観等の魅力を PR するため、交流イベント「檜谷棚田のさんかん日（R3～）」の開催や、見晴台・棚田展望台の整備、檜谷棚田米のブランド化、棚田カード・HP・SNS の活用、棚田風景のカレンダー作成など、集落外の住民・組織との交流を推進して、農村関係人口の増加による地域活性化に取り組んでいます。
- コスモス、フジバカマ、ヒガンバナを棚田法面や花壇に植栽する景観形成活動に取り組んでおり、9 月中旬から 10 月中旬にかけて渡り蝶として知られるアサギマダラが棚田周辺のフジバカマ花壇に飛来して、100 頭以上が乱舞する光景は圧巻で、毎年、多くの見物客が訪問します。



農道の草刈り・清掃活動



田植体験時の指導・援助



檜谷棚田の風景

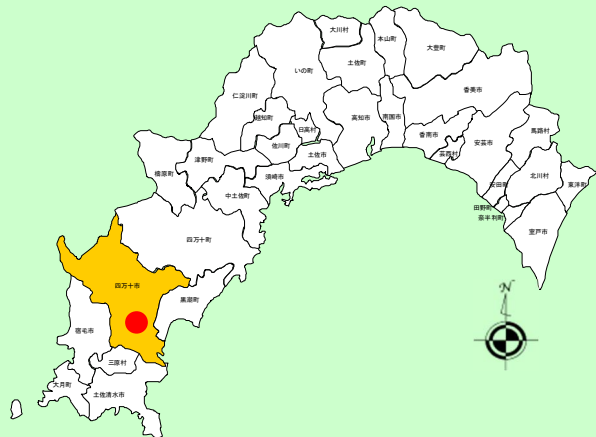


令和7年度 多面的機能発揮促進事業  
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織（高知県）

【多面的機能支払】

さだほぜんかい しまんとし  
「佐田保全会」（四万十市）

- （１）認定農用地面積：28.1ha  
（田：17.3ha、畑：10.8ha）  
（２）組織構成：  
１集落（農家32戸、非農家13戸）  
開水路：3.5km、農道：5.7km  
ため池：1箇所



【組織の概要】

本組織は、日本最後の清流の呼び名で知られる一級河川「四万十川」の流域に位置する山間農業地域で、温暖多雨で日照時間が長く、川沿いに広がる低平地の水田では、水稻を中心に、大葉、ショウガ、シシトウ、米ナスの栽培が盛んです。

過疎・高齢化を背景に、地域資源の維持管理が困難になってきたことから、平成21年度に活動を開始し、水路・農道・防風林の草刈り・泥上げや、鳥獣害防護柵の保守管理を地元の自治会、婦人会など農業関係以外の団体も協力して、地域一体となって取り組み、農業に関する機運の上昇、地域コミュニティの維持・活性化に貢献しています。

【主な取組内容】

- 地区内には観光名所の佐田沈下橋があり、観光客が一定集まる地域であるため、景観形成活動に力を入れており、年2回、役員が声掛けをして草刈り機を持ち寄り、集落一斉の草刈り・泥上げを実施し、女性部を中心に観光駐車場に設置したプランターや花壇へ季節を楽しむ花を植栽して、観光客に癒しの場を提供しています。
- 地元小学校・PTAと連携して古くから伝わる集落の秋祭り（新小学1年生が神社で太刀踊りを披露して花をプレゼントする）に参画して、草刈りや神輿の準備などを支援することで、農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化に繋がっています。
- 長寿命化の活動では、構成員に測量や重機操作の担当者がおり、直営施工で水路の補修・更新や農道のコンクリート舗装等を役割分担して実施し、限られた予算を有効活用して、工事延長をできるだけ長くできるよう工夫しています。



集落一斉の草刈り



佐田沈下橋周辺での植栽活動



鳥獣防護柵の保守管理